

運動に親しむ条件整備

サークル型運動部活動と全校体育の取組

熊本県御船町立御船小学校

全校児童数	319名（男子182名 女子137名）		
全クラス数	15	教職員数	22名
クラブ活動または運動部活動	数	4	
	参加延べ人数	99人	
地域のスポーツ指導者の活用（年間延べ人数）	30人		

Plan ▶▶▶▶▶▶▶▶ 取組時の課題と目的

1 取組時の課題

新体力テストにおいて、全8種目96項目（6学年・男女別）中、平成24年度は75%、平成25年度は48%が県平均を下回っており、運動に対する関心が高学年ほど低かった。

2 取組の目的

- ①部活動未加入で運動に苦手意識をもつ児童が、運動に親しみ、体を動かす心地よさを味わい、体力の向上を図るきっかけとする。
- ②運動に親しめる環境をつくり、日常的に体を動かす習慣を形成し、運動への関心を高める。

Do ▶▶▶▶▶▶▶▶ 取組の内容

1 サークル型運動部活動

(1) M-スポーツクラブの設立

3年生以上で運動部活動に未加入の児童が60%であり、未加入の児童の中には運動に対して苦手意識をもっている子も多い。平成25年度から、文科省委託事業において県から「体力向上モデル校事業」研究指定を受け、体力向上サポーターの派遣が可能になったこともあり、地域のスポーツ指導員に依頼し、運動に苦手意識をもつ子供も取り組みやすいよう、ニュースポーツを中心に活動するM-スポーツクラブを設立した。設立に際しては保護者に周知するとともに、既存の部活動に入部していない児童を勧誘した。活動場所は町教育委員会の協力を得て本校に隣接するスポーツセンターを使用している。

(2) M-スポーツクラブの活動

1つの競技・種目にこだわらず、トランポリン、ドッジビー、スポーツ吹き矢、ダーツ等、ニュースポーツを中心として活動している。運動が苦手な子供たちがいろいろな運動に取り組み、体を動かす心地よさを味わえるようにすることに主眼を置いている。また、活動を週2回で1時間程度にし、参加しやすいようにしている。活動に関しては、スポーツ指導員が指導を行い、教員がサポートしている。また、練習計画や保護者との連絡、会計などの運営面は教員が行っている。

2 日常活動の取組

(1) スイッチオンタイムの実施

午前8時から15分間、眠っている体に刺激を与え、気持ちよく1日をスタートさせる目的でスイッチオンタイムを

実施している。運動会や陸上記録会前には8秒間走、持久走大会前には10分間走、季節や行事等を考え、体操、なわとび、体ほぐし等も取り入れている。

(2) 全校体育の実施

継続して取り組むことを念頭に、週1回授業間活動として全校体育を実施している。新体力テストによる児童の課題や実態を考慮し、様々な種目や場をバランスよく取り入れ、多様な動きを体験する機会にしている。

(3) 運動に親しむ環境づくり

教職員で協力して一輪車コースや投的板、なわとびボード等を作ったり、フリスビーや投力を向上させるための用具を購入したりしている。

●工夫したこと

- ①M-スポーツクラブでは、多種多様な動きを経験できるニュースポーツを実施している。運動に親しませることを主眼としているため、児童の活動したい種目も常に把握し、取り入れるようにしている。
- ②取組の結果を評価、検証するために年3回新体力テストを実施しており、第2、3回は課題のある種目に絞っている。児童は自分の記録を伸ばすために、日常の運動でめあてをもち、課題を意識しながら活動している。
- ③「チーム御船」を合い言葉に、様々な取組に対して教職員で役割分担をしている。特に全校体育では、8つの活動場所を設定し、全教職員で担当している。

Check ▶▶▶▶▶▶▶▶ 取組の成果

- ①平成26年度新体力テストでは、全8種目96項目（6学年・男女別）中、県平均を下回る種目は31%になっている。
- ②体育（運動）に関する意識調査の結果、数値の向上がみられ、体育（運動）に対する興味・関心・意欲が高まっている。

Action ▶▶▶▶▶▶▶▶ 今後の課題

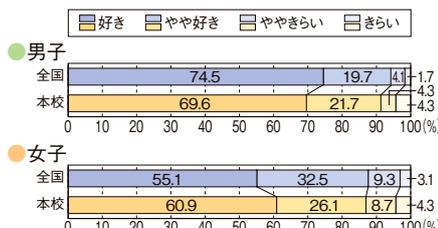
- ①学校全体としてボール投げと上体起こしが課題として残っており、引き続き対策を検討し、具体的な取組を行う必要がある。
- ②地域の運動にかかわる人的資源をさらに発掘し、学校のニーズにあった人材を適切に導入できるシステム（学校支援ボランティア）づくりが必要である。

本校の結果

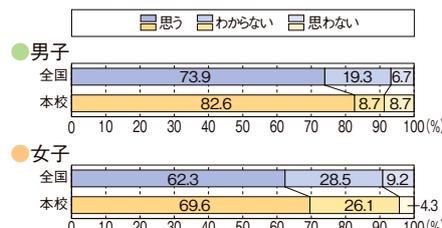
●体力合計点と運動時間

	男子	女子
体力合計点(点)	55.1	59.5
A	26.1	26.1
B	13.0	39.1
D	34.8	8.7
E	4.3	0.0
AB-DE	0.0	56.5
1週間の総運動時間(分)	757.0	452.0
60分未満の割合(%)	0.0	0.0

●運動やスポーツが好き



●中学校に進んでも自主的に運動やスポーツをしたい



M-スポーツクラブの活動

●スポーツ指導員（体力向上サポーター）の協力を得て、児童が親しみやすいニュースポーツを実施。



スイッチオンタイム

●1日のスタート スイッチオン！



主な成果

①平成24年度の新体カテストの結果を受け、体力の向上に取り組みました。5年生の体力合計点の平均を見ると女子が顕著ですが、児童の体力が年々向上してきています。



②児童の体育(運動)に関する意識調査を4段階の自己評価で実施しました。体力の向上の取組についての成果として児童の意識が向上しています。

意識調査アンケート	学校平均	H25/7月	H26/6月
1 体育がすぎ		3.4	3.5
2 体育が得意		3.1	3.2
3 体を動かすのが気持ちがいい		3.4	3.5
4 体育で精一杯体を動かす		3.5	3.5
5 体育で自分で進んで運動		3.2	3.2
6 体育ははりきっている		3.2	3.3
7 上手になりたいと思う		3.7	3.7
8 上手になるために考えながら運動		3.1	3.3

運動に親しむ環境づくり



職員手作りの投てき板



職員手作りの一輪車コース



上級者用コース

テーマ4
4 家庭や地域でもっと運動をするようになる条件整備